

# 令和4年度第4回仙台市宮城野区区民協働まちづくり事業 評価委員会 令和5年度まちづくり活動助成事業計画説明会 議事要旨

日 時：令和5年3月9日(木) 午後6時30分～8時15分  
場 所：宮城野区中央市民センター2階 第1会議室  
出席者：佐藤副委員長、有坂委員、葛西委員、庄司委員  
まちづくり推進課

## 1 開会

※新型コロナウイルス感染予防による入れ替え制での開催のため、委員長挨拶・評価委員の紹介・概要説明は省略。

## 2 事業計画説明及び質疑応答

(1) 事業名：若者による緑化まちづくり活動『Green up Field みやぎの』

団体名：東北福祉大学地域創生推進センター

### <質疑・意見>

委 員 この事業で何が生み出されるのか申請書からは見えなかった。この事業をやることによって市民と緑の賑わいが区民へどう広がっていくのか、デジタルアーカイブは他の方法と比べてなにが良いのか。そのあたりについて伺いたい。

説明者 本事業は、バーチャル空間を活用したまちづくりが目玉である。Google ストリートビューでは榴岡公園の周辺しか見えないが、この事業で榴岡公園の中にある木々や歴史をバーチャル空間上に表すことによって、いつ、どこでも公園内の様子を見ることが出来るようになる。小中学生への教育の活用にも次年度以降反映していきたい。デジタルアーカイブにすることで QR コードとして読みとれるようになるため、市民向けのチラシに載せることもできる。作成にあたっては、学生が公園に足を運んで 360°カメラやスマホ、パソコンで撮影、取材をし、表示する文章などを考えていく予定である。

委 員 この技術を用いた実例ではどのような成果が上がったか聞いているか。

説明者 コロナ禍において出かけられない方から多くのアクセスがあった、今後メタバース等にも反映できる内容であると聞いている。

委 員 事業名が、「若者による緑化まちづくり活動」とあるが、説明を聞いているとバーチャル空間づくりのように思えて、内容と事業名のギャップを感じる。また、予算はNTT 東日本への委託料にほとんど使うようだが、この団体でやりたいことは「NTT 東日本へ委託すること」ということでよろしいか。

説明者 事業名は申請書提出後に同様に疑問に思い、次年度以降は「バーチャル空間を活用した若者によるまちづくり活動」に訂正したいと考えている。また、委託するといっても、バーチャル空間を作るためのシステムを一緒に作っていく形になるため、実際に制作作業をするのは本学学生と高校生である。

委 員 自己資金が極端に少ないので、その点を考えた方が良くと思う。

### <協議結果>

助成事業として採択する。

(2) 事業名：ストリートピアノスタンプラリー@仙台駅東エリア

団体名：一般社団法人東北を明るくする仙台ストリートピアノ協会

<質疑・意見>

委員 スタンプラリーによる地域活性がこの事業のポイントだと思うが、(この事業の共催である) 駅東まちづくり協議会がこの事業に期待することは何か。

説明者 仙台駅東まちづくり協議会の活動エリアの中に仙台サンプラザホールがあったり、仙台医療センターの近くに県民会館の移転が決定していたりと駅東エリアの中で音楽のイベントが増えていくのではないかと期待されている。西口の方では定禅寺ストリートジャズフェスティバルや仙台クラシックコンサートといったイベントがあるが、東口ではそういったイベントは開催されていない。また、榴岡エリアはマンションの建設ラッシュで、榴岡小学校の生徒数や世帯数もどんどん増加しており、子どもたちに音楽に親しんでほしいという思いもある。街角で音楽の演奏ができるというのは子育てしている方にとっても良いことであるし、スタンプラリーでまちを周遊していただくことは駅東まち協の理想としている内容でもある。

委員 ピアノを常設できるのがこの事業の一番いいかたちだと思うが、そこに至るまでの計画はあるか。

説明者 今回は、駅東まち協の協力を借りてスタンプラリーというかたちをとるが、必ずしもスタンプラリーとして実施する必要があるとは考えておらず、必要とされる時期と形態を選びながらストリートピアノのイベントを継続して開催していきたいと思っている。

委員 ピアノの演奏者のパフォーマンスだけにとどまらないように、見る側のメリットもあるような仕掛けがあれば良い。地域の事業団体や商店の方にも協力を頂けるようなプログラムを組んでほしい。

委員 19日間にわたって終日5台のピアノを置きっぱなしにするのか。

説明者 屋外に1日中置くわけにはいかないので、屋内に置く予定である。仲間に調律師や楽器店、ピアノ指導者がおり、所有しているピアノを使ってほしいと提案されているので5台用意することも可能である。

委員 自身の団体で所有しているピアノはアートペイントされた1台のみか。

説明者 その他にグランドピアノも1台保有している。置き場所については駅東まち協が企業や学校に協力を依頼している。軒下がある場所であれば滑車に載せて移動させ、路面沿いで演奏することも可能であると考えている。個別に場所を借りることになるので、随時相談しながら決めていきたい。

委員 置かせていただくところの方に管理もお願いするのか。

説明者 出し入れなどが必要になればお願いする予定だが、労力がかけられないということであれば、スタッフが巡回して設営や片付けをする予定である。

委員 スタッフに管理費として1万円のアルバイト料が19日分ついていて、これはピアノ1台に対してスタッフ1人ではないということか。

説明者 1日のうちに5か所を1人が巡回することを想定している。設置する場所の管理者にもピアノを演奏する方の整列等のお手伝いをお願いしている。

委員 演奏料の中に著作権料も含まれているのか。

説明者 そのとおりである。

<協議結果>

助成事業として採択しない。

理由：仙台市宮城野区区民協働まちづくり事業評価委員会評価基準第4条第1項第2号に規定する審査の対象基準となる得点を満たさないため。

(3) 事業名：市バスに乗って行こう—新浜の貞山運河小屋めぐり

団体名：貞山運河倶楽部

<質疑・意見>

委員 ①これまでの活動の中であがった来場者からの評価や達成できなかった不足の部分があるか、それをどう達成していくか。

②市バスの利便性において改善の余地はあるか

③来場者数やこの事業のメリットを数値的に示せるか

説明者 ①不足と感じた部分は、スタンプラリーのみを実施していたが、地元のアーティストや農家の方と話をしたいという声が多かったところである。そのため、次年度はワークショップを多く開催したいと考えている、

②土日になると区役所から来るバスはないが、中野新町まで行くバスはある。もう少し伸ばせないか掛け合いたい。また、車で来場可能であることをきちんと案内したい。

③まちづくりの基本は人で、何回も繰り返すうちにファンが増えてきている。また、若い人が一緒に協力してやってくれるようになってきたのでこれから先も期待できる。閑上や荒浜には施設があるが、宮城野区には交流できる場所がないためいろいろな人に来てもらい良さを知ってもらいたい。

委員 助成期間終了後の財源にもいつかお伺いしたい。新浜の良さを子どもにどう伝えていくかについても研究してほしい。

委員 ワークショップに参加した方は皆車で来られた方か。

説明者 中にはバスで来た方もいる。

委員 チラシを置くだけでは集客にはつながらない。みやぎのまつりや市民センターまつりなどでブースを持って自発的にアピールして誘客する活動をしてみてはどうか。

説明者 高砂地区はどうしても遠く感じられてしまうので検討していきたい。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(4) 事業名：仙台門松を宮城野区に飾ろう

団体名：仙台門松・みやぎの発信隊

<質疑・意見>

委員 仙台門松は住民同士のコミュニケーションに実際どのように活用されていくと考えているか。

説明者 最近話題になっている仙台門松をまず見てもらうことで、その感想や自分の家に飾れるかといった話題性につながっていく。それから、実際自分のお正月ではどんなことできるかということや新しいお正月のかたちについて話題が派生していき、昔と現在を結びつけることで興味を沸かせられると考えている。

委員 地域交流会の内容を吟味し、若い世代にどう伝えていくかについて研究してほしい。

委員 収支予算書の中に門松の材料費があるが、既存のものを使うということか。また、終わった後の処理方法はどのようになるか。

説明者 最初は栗の木を伐採しないといけないのでお金がかかるが、土台の部分は何年か繰り返し使える。作成は業者に頼むので約15万円かかる。1基だけだと普及効果がないので2基作成して鶴巻と福田町、田子と福田町というように歴史があり人が多く住んでいる場所を中心に回していく予定である。その子ども会などと連携して講習会なども開催したい。

委員 毎年作成に15万円かかるということか。

説明者 土台は残すのでそこまでの費用は発生しない。残りの材料は地域で調達できるものなので、地元の方の力を引き込んでこの事業を持続可能にしていきたい。

<協議結果>

助成事業として採択しない。

理由：仙台市宮城野区区民協働まちづくり事業評価委員会評価基準第4条第1項第2号に規定する審査の対象基準となる得点を満たさないため。

(5) 事業名：ケアブレンドカフェミヤギノ

団体名：特定非営利活動法人ケアブレンド

<質疑・意見>

委員 この後助成期間が終了し事業として自立するにあたって、事業の成果をどのように測って誰にどうアピールしていくかというところがとても重要になる。また、規模が大きくなればなるほど事務局経費がかかってくるのでどのように見積もってどう対応していくか、寄付金を集めるにしてもどう長く続くようにしていくかを考えて活動してほしい。また、今年度の課題として挙げている国際交流は今の世の中にとって非常に重要だと思うので、是非対話の機会をつくってほしい。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(6) 事業名：親子にやさしいまちづくり～おやこの育ちあい事業～

団体名：KOSODATEOUEINKAI

<質疑・意見>

委員 この事業に対して近隣の団体（子ども会、町内会、社協、民児協等）にどのくらいアピールをして賛同を得られているか。

説明者 まだアプローチできていないが、今後繋がっていくべきところだと考えている。今つながりのある団体から交流の輪をもっと広げていきたい。

委員 同様のプログラムを行っている他の団体との連携の図り方はあるか。

説明者 今年度は私自身が区内のいろいろな子育てサロン等に出向いていき、お手伝いをしたり参加者と知り合ったりしたいと考えている。

委員 託児に係る経費をどうするかを3年間で確立して行ってほしい。

委員 メンバーは何人か。

説明者 私を含め3人である。

委員 それぞれのスキルや得意なところがあれば教えてほしい。

説明者 一人は保育士の経験があり、現在は宮城野区内の広場の管理をしている。もう一人は民間企業の社員である。

委員 その2人はプログラムのファシリテーションをするのか。

説明者 その2人は活動を応援してくれている方々で主に事務をお願いしている。プログラムを実施できるのは私のみだがプログラムの実施には必ず2人必要なため外部講師も呼んでいる。

委員 榴岡エリアを対象とするのであれば、宮城野区中央市民センターよりも榴ヶ岡市民センターや生涯学習支援センター、駅東交流センターなど近い会場にしたほうがよいと思うので検討してほしい。

<協議結果>

助成事業として採択する。

(7) 事業名：デイハウス  
団体名：デイハウス運営委員会

<質疑・意見>

委員 ①初年度の成果

②今年解決したい課題は何か教えてほしい。

説明者 ①コロナ禍ということもあり成果というよりも悔しい思いをすることが多かった。ただ、セミナーを開催するという事で新たな価値を体現できたことは大きな成果だと思う。また、不自由から少しずつ緩和されてきた中で、この事業が地域の中でなくてはならないものと再認識できたことも成果である。

②専門職が法人という枠に囚われずに手を取り合えるということがこの事業の魅力だと考えていたが、その点がままならなかった。コロナも緩和されてきているので積極的に参加者を募っていきたい。

委員 成果をどうアピールしていくかを考えていくことで、スタッフの確保や必要経費の削減への対応策も生まれてくると思うので、評価の仕方を考えてほしい。

委員 セミナーはどのような内容で何名くらい参加されたか。また、若い世代との交流を図りたいとあったが、何か考えていることはあるか。

説明者 感染症についてのセミナーを行い、参加者は9名であった。以前は中学校などに声をかけていたので、そういったところにも声掛けをしていきたい。将来的には子ども食堂のような機能も担えると良いと思っているので、長期休みの期間を狙って呼びかけをしていきたい。HPやチラシなどを活用し、高齢者だけでなく子どもの居場所でもあることをPRしていきたい。

<協議結果>

助成事業として採択する。

### 3 閉会